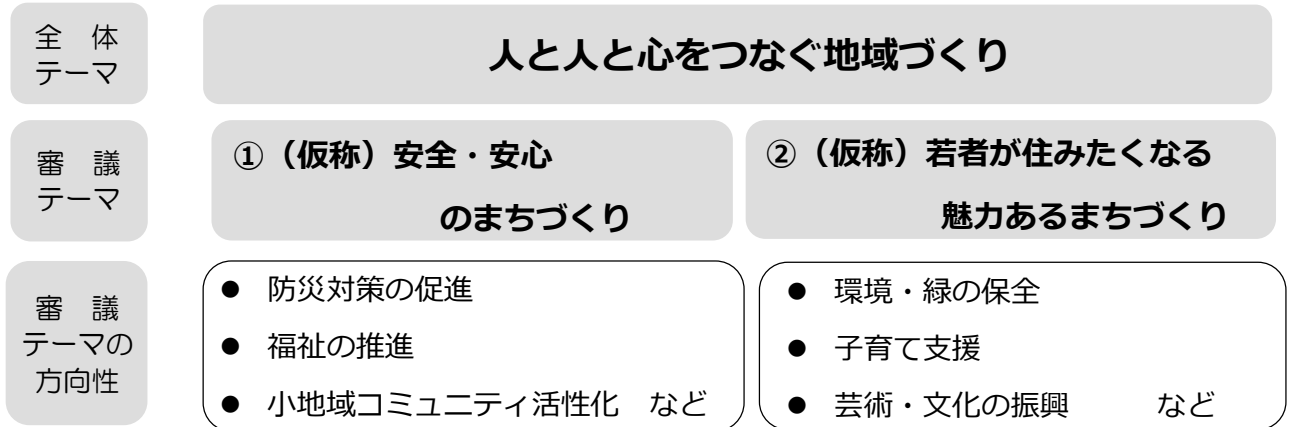


第 4 期麻生区区民会議 審議テーマ（企画部会提案）

企画部会で協議の結果、第 4 期麻生区区民会議における全体テーマおよび審議テーマ（案）は以下の通りとなりました。



背景、  
対策・  
方向性

（背景）

- ・安全・安心のまちづくりは、市民アンケート結果により、区民の最も関心のあるテーマ。委員の関心も高い
- ・震災対策が進んでいる部分とそうでない部分がある

（対策・方向性）

- ・防災対応や避難対策などの検討も必要
- ・災害対策をコミュニティづくり、町会との絆づくりに活かす
- ・小地域コミュニティづくりを目指す

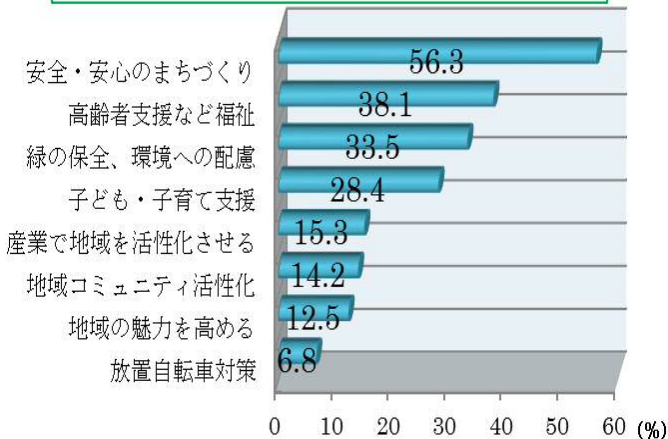
（背景）

- ・将来、高齢化・若者減少の加速が予想される
- ・区内では開発行為が進んでいる

（対策・方向性）

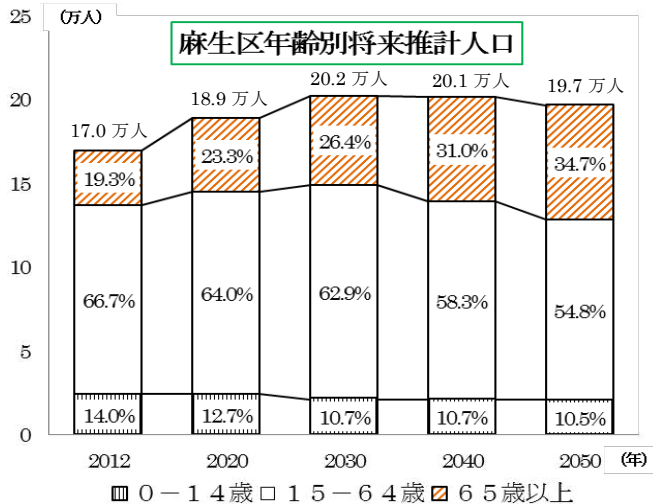
- ・今から若者が住みたくなるまちづくりが必要
- ・文化芸術振興による魅力づくり
- ・若者が住みたくなるためには、子育て支援も必要
- ・芸術・文化と福祉が共存したテーマとして審議

区民会議で取り上げてほしい地域の課題（麻生区民回答）



（※平成 23 年度かわさき市民アンケート抜粋）

麻生区年齢別将来推計人口



（※総合企画局データ参考）

## ■協議概要（詳細）

### 1. 区民会議としての全体テーマについて

（主な意見）

- ・ 全体のテーマを決めて、専門部会に振り分けていくことが重要
- ・ 第3期区民会議のテーマを継承し、人とのつながりを重視したテーマを設定する

【結論】	・ 全体テーマ（案）：「人と人と心をつなぐ地域づくり」とする ・ 審議方法：全体会議にて提案し、承認を受ける
------	---

### 2. 審議テーマの絞込みの方法について

（主な意見）

- ・ 区民が取り上げてほしいと考えているテーマとすべき（区民アンケート調査結果）
- ・ 公募委員の提出している論文で記述されているテーマを参考にする
- ・ 委員が希望する新たな審議テーマを設定
- ・ 第3期の審議テーマの継続に限定されるものではない
- ・ 審議の切り口は様々あり、専門部会においてテーマ設定する
- ・ 委員全員の希望テーマを把握した上で審議テーマを決めていく方法もある

【結論】	・ 審議テーマ（案）について、次回全体会にて協議・承認を得る ・ 調査審議に内容について、企画部会からある程度の議論の方向性を示唆する
------	--

### 3. 審議テーマについて

（主な意見）

#### ① （仮称）安全・安心のまちづくり

（背景）

- ・ 安全・安心のまちづくりは、市民アンケートによると区民が最も関心のあるテーマで、委員の関心も高い。
- ・ 震災対策が進んでいる部分とそうでない部分がある。（耐震補強や家具の転倒防止策などの室内での対策）

（対策・方向性）

- ・ 防災対応や避難対策などの検討も必要である。
- ・ 災害対策は、つながりを活かしたコミュニティづくり・町会との連携「絆」づくりに活かせる。防災対策（共助）の促進は、高齢者対策・DV対策などの地域ぐるみの対応につながる。
- ・ 小地域コミュニティづくりを目指す。（防災・若者への魅力づくり・緑と環境につながる可能性もある）
- ・ 町内会などで災害対策を行うにしても、ただ「やってください」を言うだけでなく、具体的なモデルケースを示したりすることで、実際に取組む気を起こしてもらい提案にしないと実効性がない。

#### ② （仮称）若者が住みたくなる魅力あるまちづくり

(背景)

- ・ 麻生区は、現在、開発が進み人口も増加しているが、10年・20年後に開発が終わった後は、一気に高齢化がすすむことが予想される。

(対策・方向性)

- ・ 今のうちから、若者が住みたくなるまちづくりを考えていきたい。
- ・ 若者が住みたくなるためには、子育てしやすい環境を考えることも必要である。
- ・ 子育て支援・芸術文化の振興に活かせる若者が住みたくなるまちが重要である。
- ・ 高齢者・障がい者支援、子育て家庭の支援活動なども絡め、芸術・文化と福祉が共存したテーマとして審議する方向が大切である。
- ・ 芸術・文化の振興などの魅力づくりを進め、若者が住みたくなるまちづくりにつなげる。
- ・ 緑・里山保全の活動はすでに動いており、第3期からの活動として任せる方向で対応したい。

(既存の取組み)

- ・ 区ではスポーツ振興・健康づくりも進めている。

以上